

業界イメージレポート －介護サービス編－

2015年10月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

業界イメージレポート－介護サービス編－ とは

「業界イメージレポート」は、特定の業界に対してもっているイメージについて、個人側と企業側に調査した結果をまとめています。本レポートは中でも、介護サービスを対象としたものです。

個人側は4セグメントに分かれます。現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、介護サービスの就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、介護サービスの就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。企業側は店長以上の役職の方を対象としています。

介護サービス業界全体に共通する魅力、もっと高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
A. 就業者と企業側	3
正社員と正社員以外	5
B. 離職者と企業側	7
C. 意向者とD. 非意向者	9

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者側と企業側双方の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2015年3月25日（水）～3月29日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - 個人側
 - －現在、対象業種に従事している人
 - －過去に対象業種に従事したことがある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業務での就業意向がある人
 - －これまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業務での就業意向がない人
 - 企業側
 - －現在、対象業種に勤務しており、職位が管理職（店長）・経営層、かつ人事（採用）または総務業務を担当している人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は介護サービスの、計916人。

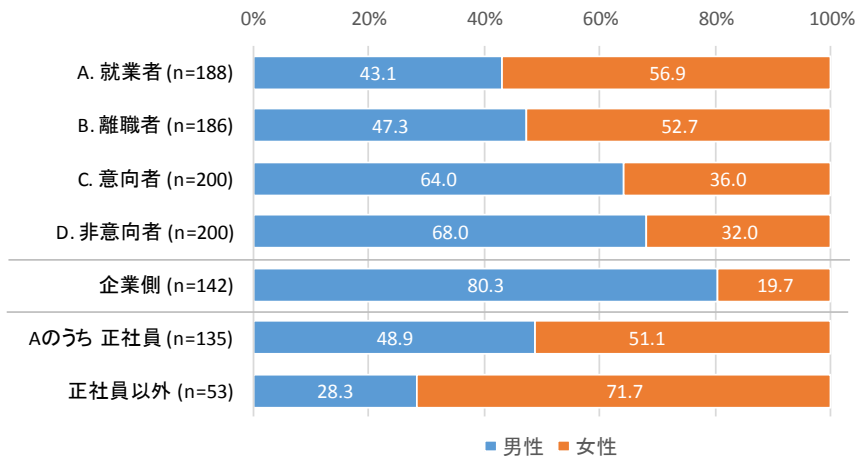
		個人側				企業側
		就業経験者		就業非経験者		
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
飲食店	ファーストフード	102	368	200	200	30
	居酒屋	118	337	200	200	37
介護サービス		188	186	200	200	142
ドライバー		195	188	200	200	141

※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

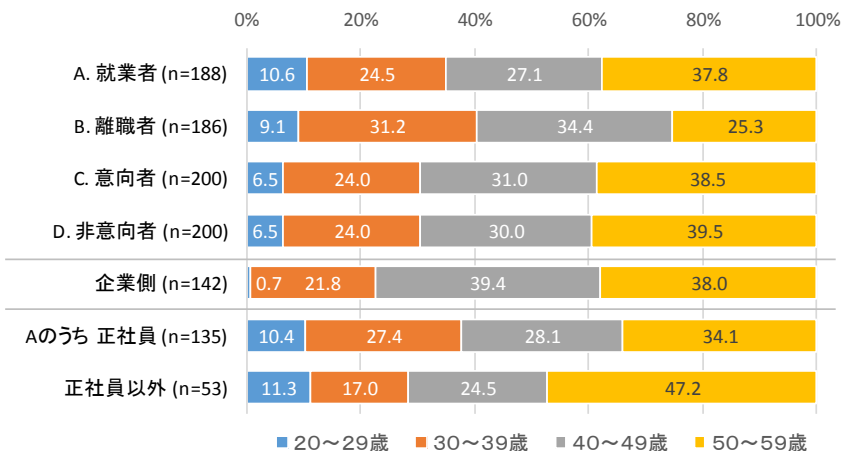
■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A. 就業者、B. 離職者、Aのうち正社員※1では、5割強が女性となっている。一方、企業側は男性が約8割を占めている。Aのうち正社員以外※2では、女性が7割強を占める。



■ 年齢

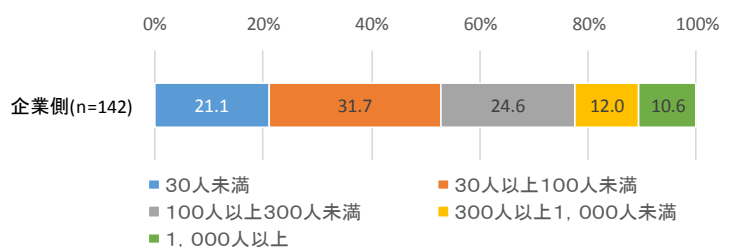
回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A. 就業者は50代がもっとも多く、40代、30代と続いている。B. 離職者は30代、40代がやや多い。企業側は役職者ということもあり40代以上の割合が高い。Aのうち正社員以外は、50代の割合が高くなっている。



■ 従業員規模（企業側）

企業側の勤務先従業員規模は、右のグラフのとおり。

30人以上100人未満が31.7%でもっとも多く、次いで100人以上300人未満、30人未満となっている。



※1 自営業者等を少数含む。

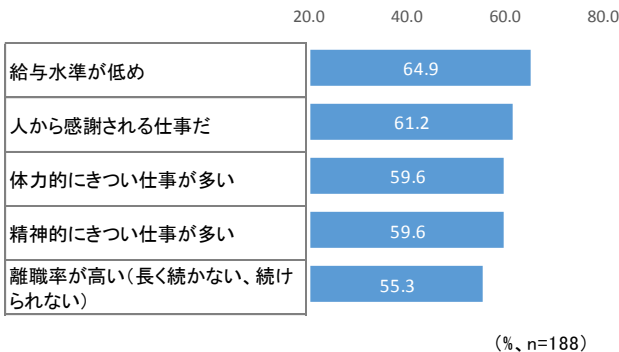
※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。

業界イメージ 1

A. 就業者と企業側

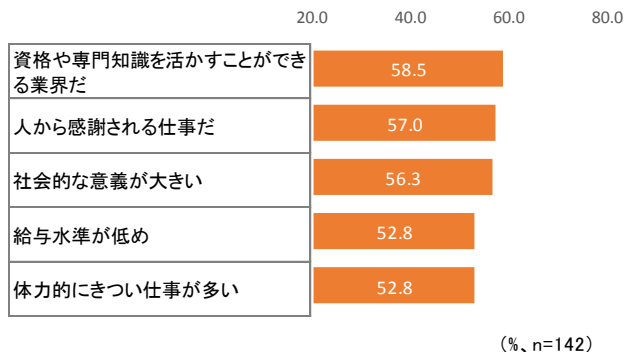
A. 就業者の上位5項目

就業者は介護サービスについて、「人から感謝される仕事だ」というイメージをもっている一方、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」など、ネガティブなイメージも上位になっている。



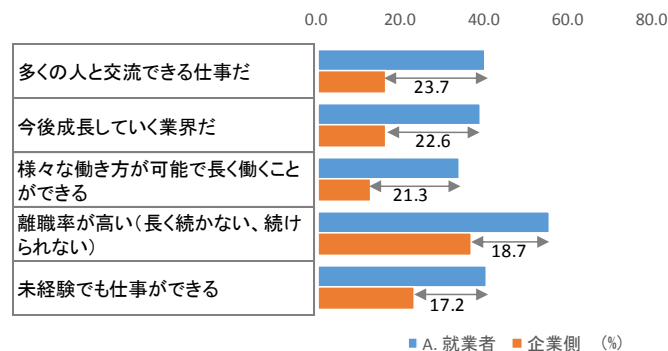
企業側の上位5項目

企業側の多くは、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」など、ポジティブなイメージをもっている。「人から感謝される仕事だ」「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」は就業者の上位項目と一致している。



A. 就業者と企業側のギャップが大きい5項目

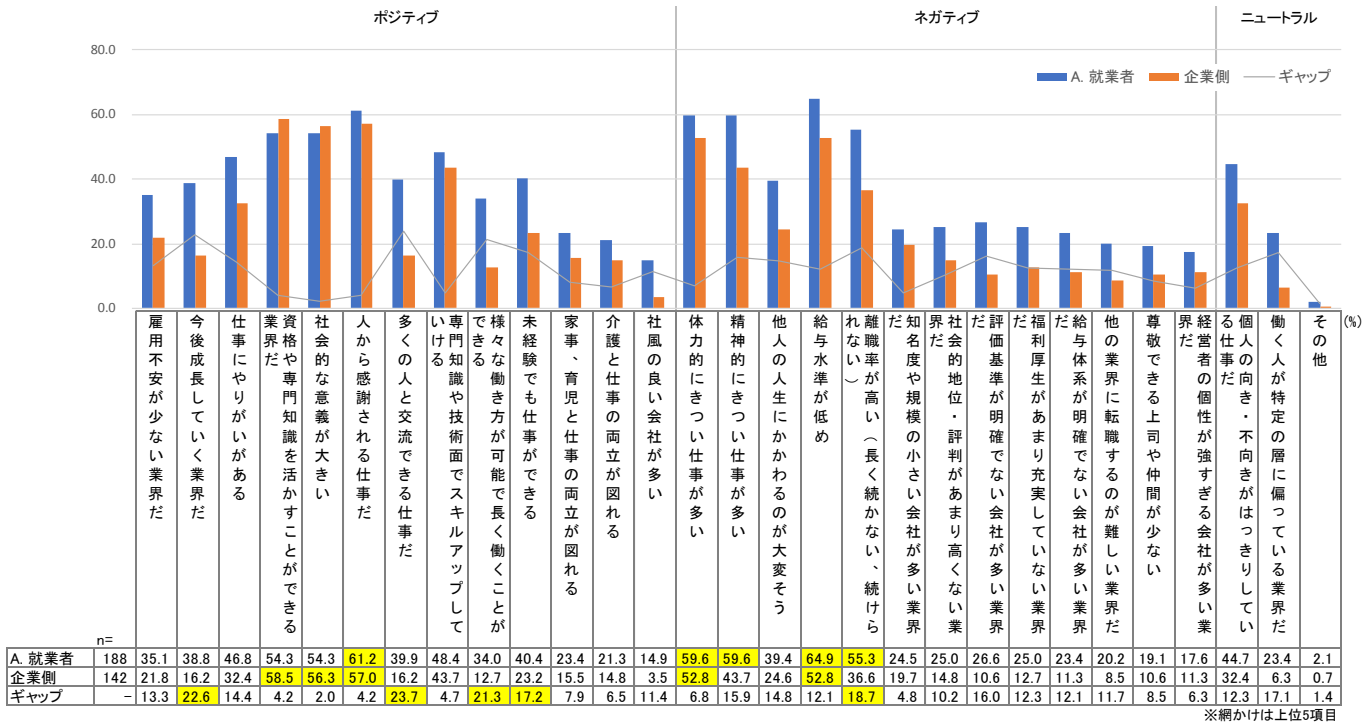
「多くの人と交流できる仕事だ」「今後成長していく業界だ」「様々な働き方が可能で長く働くことができる」など、いずれも就業者の方が企業側よりもイメージをもっている。



A. 就業者と企業側

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／介護サービスの仕事(調理・配膳、シーツ交換など無資格でできる内容も含む) (MA)

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。(MA)



介護サービスについてどのようなイメージをもっているか、現在働いている就業者と企業側に聞いた。

就業者は、「人から感謝される仕事だ」などのポジティブなイメージをもっている一方、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」など、ネガティブなイメージも多くもっている。

企業側の多くは、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」など、ポジティブなイメージをもっている。一方で、やはり「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」など、ネガティブなイメージもある。

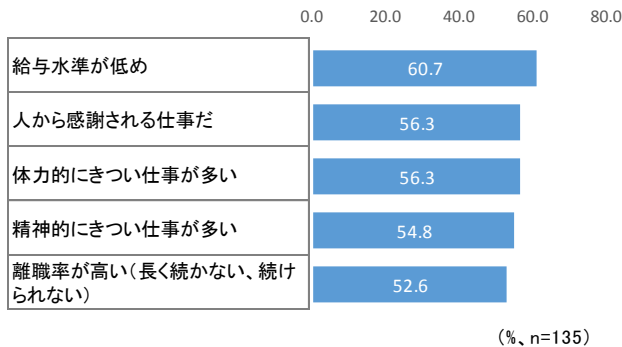
両者のギャップが大きいのは「今後成長していく業界だ」「多くの人と交流できる仕事だ」「様々な働き方が可能で長く働くことができる」などで、いずれも就業者の方が企業側よりもイメージをもっている。

業界イメージ 2

正社員と正社員以外 (A. 就業者)

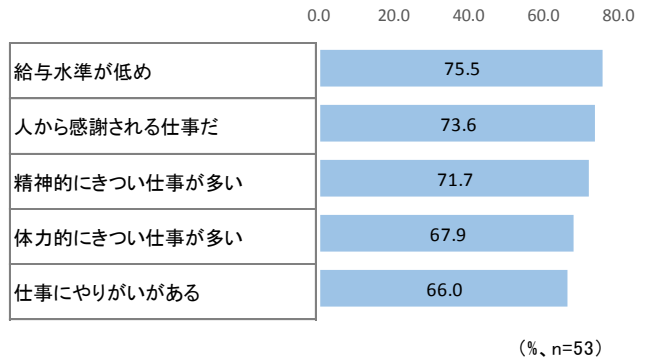
正社員の上位5項目

就業者のうち正社員がもっているイメージは、「人から感謝される仕事だ」というポジティブなものがある一方、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」など、ネガティブなイメージも上位になっている。



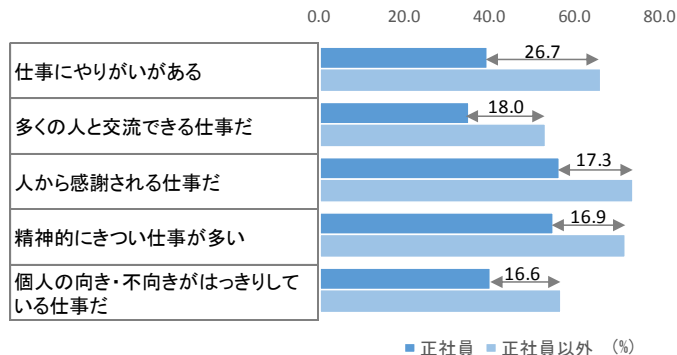
正社員以外の上位5項目

正社員以外でも、上位の項目は正社員とほぼ共通している。「仕事にやりがいがある」という点では、正社員よりもポジティブなイメージをもっている。



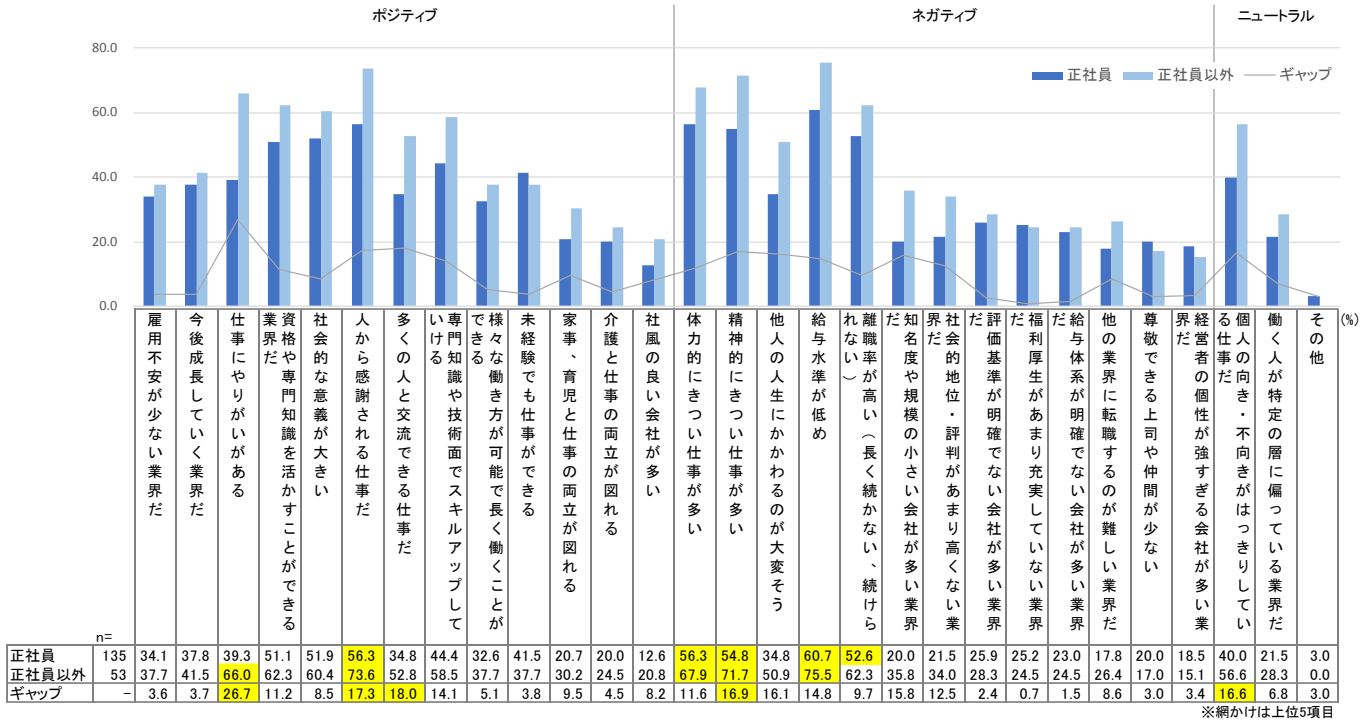
正社員と正社員以外のギャップが大きい5項目

「仕事にやりがいがある」「多くの人と交流できる仕事だ」などのポジティブな面、「精神的にきつい仕事が多い」などのネガティブな面、いずれも正社員以外の方が割合が高い。



正社員と正社員以外（A. 就業者）

【A. 就業者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／介護サービスの仕事(調理・配膳、シーツ交換など無資格でできる内容も含む) (MA)



介護サービスについてどのようなイメージを持っているか、現在介護サービスで働いている就業者の中で、正社員※と正社員以外に分けて見てみよう。(※自営業者等を少数含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。)

正社員がもっているイメージは、「人から感謝される仕事だ」というポジティブなものがある一方、「給与水準が低め」「体力的にきつい仕事が多い」など、ネガティブなイメージも上位になっている。正社員の比率が高いこともあり、就業者全体と近い結果となっている。また、正社員以外でも、上位の項目は正社員とほぼ共通している。

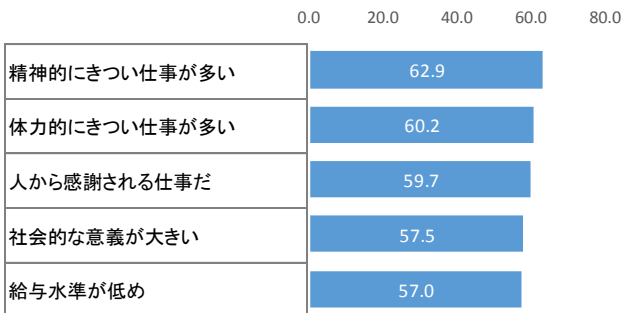
正社員と正社員以外のギャップを見ると、全体に正社員以外の方が数値が高い。「仕事にやりがいがある」「人から感謝される仕事だ」「多くの人と交流できる仕事だ」などのポジティブな面、「精神的にきつい仕事が多い」などのネガティブな面、両方でギャップがある。

業界イメージ 3

B. 離職者と企業側

B. 離職者の上位5項目

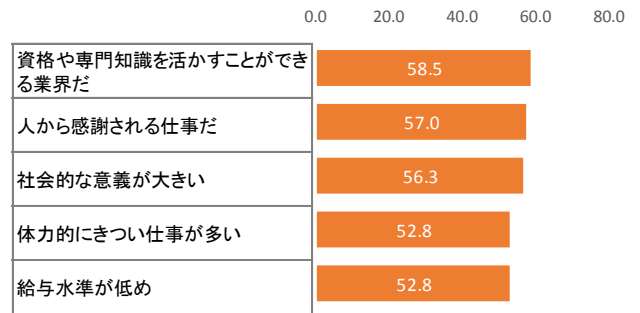
離職者がもつイメージは、「精神的にきつい仕事が多い」「体力的にきつい仕事が多い」の割合が高くなっている。しかし、「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」とポジティブなイメージもある。



(%, n=186)

企業側の上位5項目

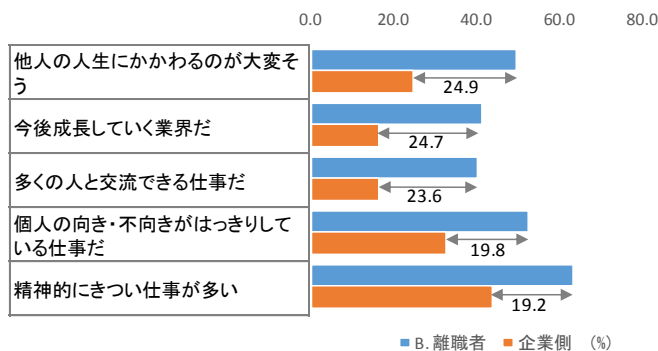
企業側の多くは、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」など、ポジティブなイメージをもっている。ネガティブなイメージの「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」は離職者の上位項目と一致している。



(%, n=142)

B. 離職者と企業側のギャップが大きい5項目

ギャップが大きかった5項目は、いずれも離職者の方が割合が高い。「他人の人生にかかわるのが大変そう」「精神的にきつい仕事が多い」の2つが上位に入っており、離職者が負担に感じていた点の表れかもしれない。

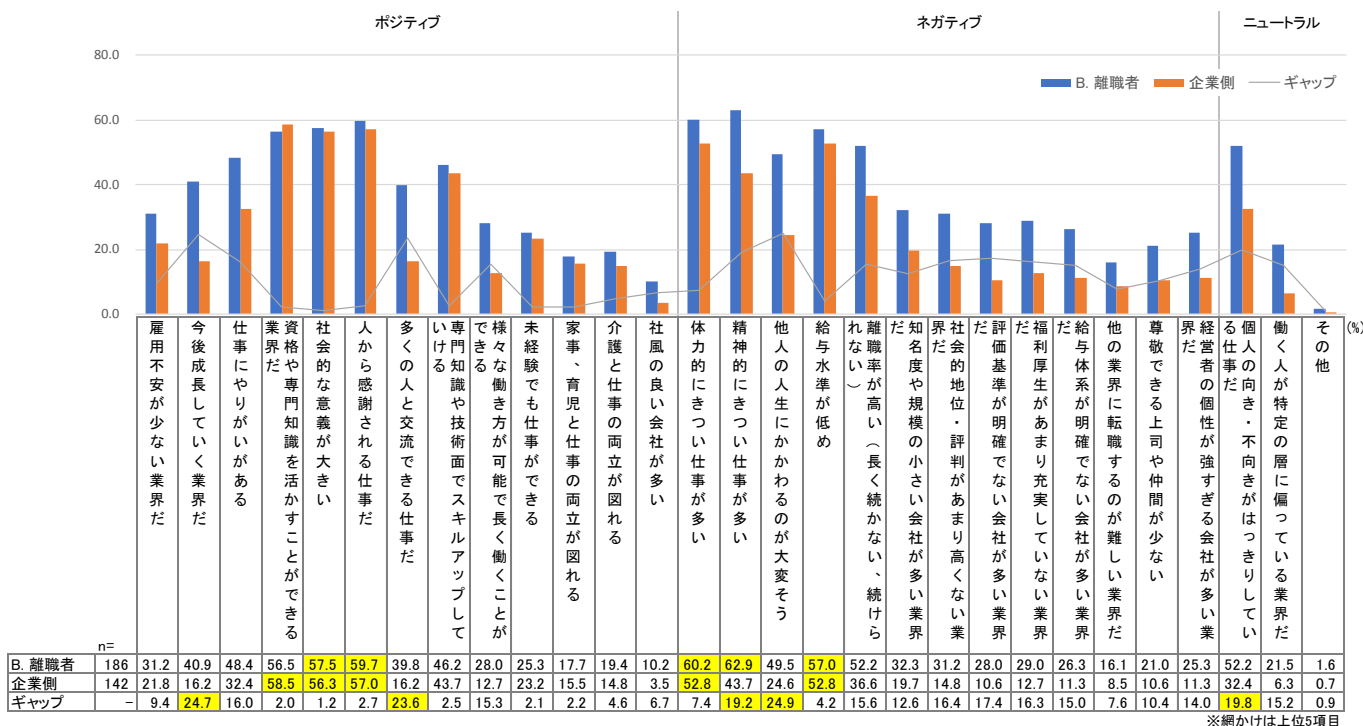


■ B. 離職者 ■ 企業側 (%)

B. 離職者と企業側

【B. 離職者】 Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／介護サービスの仕事(調理・配膳、シーツ交換など無資格でできる内容も含む) (MA)

【企業側】 Q. あなたがお勤めの会社や、お勤めの業界のイメージとして、世の中の人や求職者に、どのように思われていると思いますか。あてはまると思われるものをお選びください。(MA)



介護サービスの仕事についてどのようなイメージをもっているか、過去に働いていたが離職した人と企業側に聞いた。

離職者では、「精神的にきつい仕事が多い」「体力的にきつい仕事が多い」の割合が高くなっている。しかし、「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」とポジティブなイメージももっている。

企業側の多くは、「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」など、ポジティブなイメージをもっている。また、離職者と同様に「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」といったネガティブなイメージももっている。

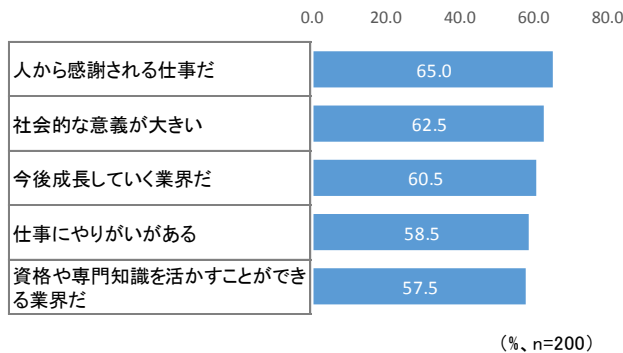
ギャップが大きかった項目は、いずれも離職者の方が割合が高い。「今後成長していく業界だ」「多くの人と交流できる仕事だ」などポジティブなもの、「精神的にきつい仕事が多い」「他人の人生にかかわるのが大変そう」などのネガティブなもの、両方がある。

業界イメージ 4

C. 意向者とD. 非意向者

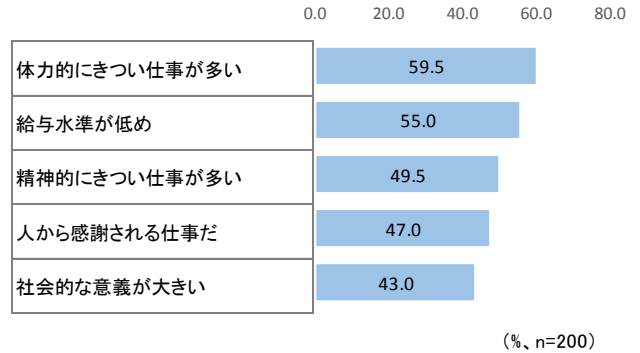
C. 意向者の上位5項目

意向者がもつイメージの上位5項目はすべてポジティブなもので、「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」「今後成長していく業界だ」「仕事にやりがいがある」「資格や専門知識を活かすことができる業界だ」などとなっている。



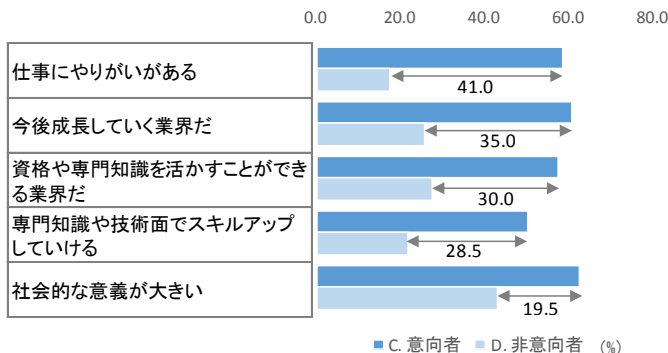
D. 非意向者の上位5項目

非意向者がもつイメージは「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「精神的にきつい仕事が多い」とまずネガティブなものが挙がっているが、「人から感謝される仕事だ」などポジティブなものも上位になっている。



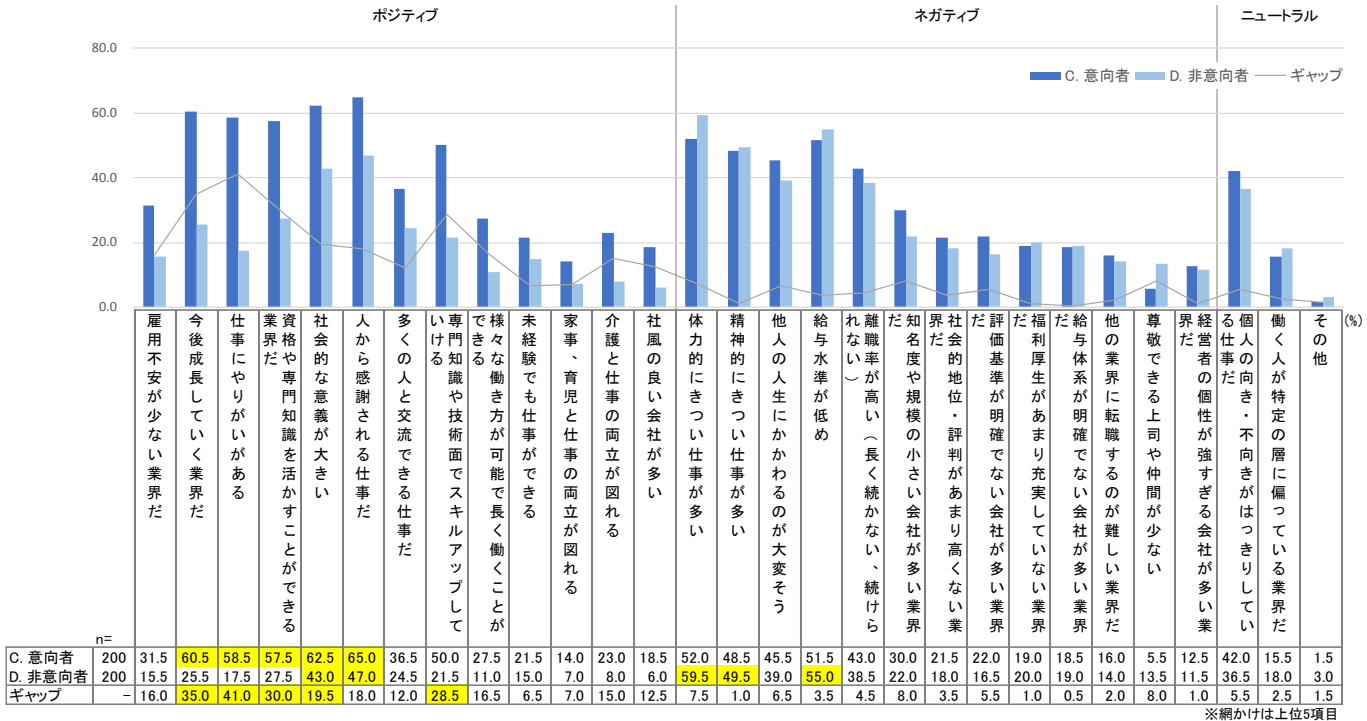
C. 意向者とD. 非意向者のギャップが大きい5項目

「仕事にやりがいがある」「今後成長していく業界だ」など、意向者はもっているが非意向者はもっていないポジティブなイメージについて、両者のギャップが大きい。



C. 意向者とD. 非意向者

【C. 意向者、D. 非意向者】Q. あなたは、以下にあげる仕事分野について、どのような印象をもっていますか。／介護サービスの仕事(調理・配膳、シーツ交換など無資格でできる内容も含む) (MA)



介護サービスで働いてみたい気持ちをもっている意向者と、働きたくないという非意向者に、介護サービスのイメージを聞いた。

意向者は「人から感謝される仕事だ」「社会的な意義が大きい」「今後成長していく業界だ」など、仕事内容や業界についてポジティブなイメージが上位になっている。一方で、「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」などのネガティブなイメージも非意向者と同程度もっている。

非意向者がもつイメージは「体力的にきつい仕事が多い」「給与水準が低め」「精神的にきつい仕事が多い」とまずネガティブなものが挙がっている。「仕事にやりがいがある」「今後成長していく業界だ」などポジティブなイメージももっているが、意向者と比べると割合が低い。

特にギャップが多いのはポジティブなもので、ポジティブなイメージをどれだけもっているかが、意向者と非意向者を分けているのかもしれない。